

【北区】エリアバス×タク運行計画（案）の概要について

1 運行概要

補助バスや区バス、住民バスの収支が低迷し、路線の維持が困難な地域において、その他の路線バスや目的バスとの路線の集約とあわせて、運行の効率化を図るとともに地域の高齢者等の負担軽減を図ることで、持続可能な公共交通の確保・維持を実現する新たな移動手段「エリアバス×タク」の導入を行う。

エリアバス×タクとは、予約に応じたデマンド型の中型車両で「バス軸」を運行し、「バス軸」の停留所から離れた地域へは、タクシー車両でバス軸のバス停まで「エリアタクシー」を運行することで運行の効率化を図るとともに、自宅付近までの移動手段も確保することで、地域の高齢者の方々などの負担の軽減を図る。

今後、「エリアバス×タク」の全市的に必要な地域への展開に向けて、効果や課題を検証するために、今年度は北区長浦地区において運行社会実験を行う。

2 北区長浦地区における導入背景

北区長浦地区においては、平成 24 年 10 月からタクシー車両によるデマンド交通の社会実験を実施してきたが、利用者の広がりが見られないことや一人乗車が多いことなど課題が多いことに加え、冬期において地元中学生の通学手段を担っていたコミュニティバスが令和 3 年度末で廃止されたことなど課題があり、新たな移動手段として「エリアバス×タク」を導入するもの。

なお、12 月から翌年 3 月の冬期間においては、ダイヤを追加してスクールライナー便をマイクロバス車両で運行することで、地元中学校への通学手段を確保する。

3 運行開始日（予定）

令和 4 年 10 月 4 日（火）